

国内宝飾小売店を応援する!!

第1回「西日本ジュエリーショップ大賞」

日本宝飾記者会(JJPC)は、低迷する宝飾市場に必要なのは、業界が一丸となってがんばる宝飾小売店を応援することが一番大切だと考え、少しでも国内宝飾市場の活性化を願うことから「西日本ジュエリーショップ大賞」をスタートさせる。4月10日頃にノミネートした小売店を発表し、JJK開催期間中の5月18日に表彰式を開催する。http://www.ijk-fair.jp/To-Visit/Award/

保険のご相談は(株)東時へ 本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477

rosyblue More than Diamonds (株)ロージブルー 〒110-0015 東京都台東区東上野1-10-6 ジュリーコート3F TEL 03-3836-7088 FAX 03-3836-7099 www.rosyblue.com

Quality FROM THE WORLD (株)時計美術宝飾新聞社 編集発行人 藤井正義 〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2 ジュエラスタウン・オーラム205 TEL(03) 3833-1886 FAX(03) 3833-1717 http://www.e-tkb.com

THE WATCH & JEWELRY TODAY ウォッチ&ジュエリー トゥデイ W&J

100周年を迎える新たなコンセプトの創造はじまる

高級路線だけではない新たな魅力も健在 BASEL WORLD 2017 一現地取材



今年で100周年を迎えた「パーゼルワールド2017」には、40カ国から1300社の時計と宝飾、その他関連企業が出席し、100カ国以上から10万6000人(前年比4%減)のバイヤーが来場したとの発表があった。その評価として、世界で最も有名かつ最もセブリティなブランドがパーゼルワールドに集まり、最新コレクションを発表し、大きなビジネスチャンスを最大限に活用したことが挙げられた。スイス本国からは、時計と宝飾を合わせ220社が出展。比類なき創造にお

ける専門知識はじめ、革新と伝統の完璧な融合を際立たせた。そして若い世代への継承に基づき、スイスの時計メーカーは、技術的、機能的、審美的な革新を絶えず追求しながら、「時間」を美しさの対象に変えている。なお、スイスの時計製造業界は、世界で60%の市場シェアを誇る。入門から超ハイエンドモデルまで、新しいトレンドの確立などもパーゼルワールドに反映されている。2016年末のスイス時計の市場規模は194億CHFとなり、この10年間で輸出額を増加させた。会場において変化が見られたのは、昨年Palace会場に集まっていた独立

時計メーカーから、H1.2の「Les Ateliers」に40ブランドを集結させ成功を収め、また、新進気鋭のジュエリーブランドやデザイナーに「Design Lab」という専門スペースが与えられるなどの、新たな試みの数々。開幕前日の3月22日に開かれた記者会見で、マネージングディレクターのSylvie Ritter氏は、パーゼルワールドの成功の理由を「常に変化する市場を反映して、自分たちの革新、改革、適応、近代化、変革に成功」と主張し、今後においては、「いくつかの会社が時計や宝飾産業から離れるなど、困難な時代を迎えた」と前置きした上で、「展示コンセプトを再び改訂し、世界市場を反映したパーゼルワールドにすることは不可欠」とし、そのために「今年は、いくつかの出展社を断った。これが我々の選択だ」と述べた。さらに、その上で、パーゼルワールドの最高地位を維持する重要な役割を果たすのが報道であると称賛。「すべての最新コレクションのニュースが分単位で世界中に中継される」と強調し、

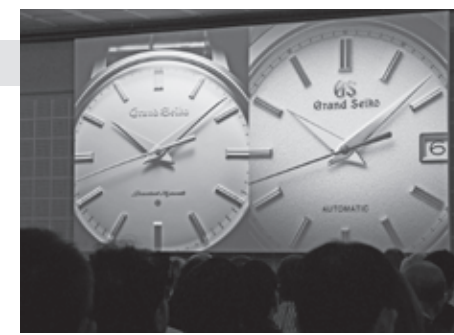
世界的なパーゼルワールドの影響を創造するためのすべてのメディア関係者に感謝するとした。今年はスロースタートと言え、2日目あたりまで来場者の激減を心配する声が出ていたものの、後半は盛り返し、終日商談でアポイントなしに話を聞くのが難しいブースも散見された。4%減の来場者数の要因は、今年初めのイタリアやドイツでの宝飾展の高い成果による影響が少なからずあったとの見方が強いが、厳しい中でも高級品を扱う見本市としての姿は顕著であり、見習うべきところは多かった。トレンドは、ブルー系文字盤、ブラックケース、サテン系バンドなど。三針、薄型、シンプルと劇的な変化は見られなかった。来年は、2018年3月22日~27日に同会場で開催される。

地方百貨店の相次ぐ閉店が続く中で、多摩センター三越に次ぎ千葉三越が3月末に店を閉めた。今や、同店の年間売上高は景気の良かった80年代のバブル期に比べれば、半分以下になっている。相次ぐ地方の百貨店の閉店は、これからも続く。ところが、トランプ政権による本格的な経済政策展開が、世界経済の今後に大きな影響を与えようとしている。つまり、これから6、7年は、世界経済が大きく停滞するの確実だ。去る3月中旬、ドイツの保護地バーデン州で開かれた主要20カ国の蔵・財政相・中央銀行総裁会議で、方向付けは、アメリカの主張を丸呑みにした。米国経済を有利に進める。保護貿易政策への転換であった。トランプ政権発足後、100日が推移しようとしているが、世界を声高にリードするワルガの本領発揮はこれからだ。世の中いづれの組織、集団においても、声の大きなワルガが、大人になっても主権を握っているが、その典型がトランプ大統領だ。手が付けられないとクリントン候補を支持した米社会のインテリやエリタリシメント層は顔をしかめているが、それだけでは何も解決しない。大統領選挙は、ワルガのストリートな正義感や主張は、エスタブリッシュメント層に不満を持つ大衆の支持を受ける。今回の米国の大統領選挙はこの結果なのだ。確かに、米国経済の再生は必要だが、自国産業を支える労働力確保まで放棄するような政策は、経済基盤の破壊にならないだろう。うかがいづれば、結果が出るのは1年ぐらい先だろう。しかし、その間世界経済に大きな混乱が起こり、経済先進国のみならず、

Grand Seikoが独立ブランドに 海外市場の更なる高み目指し、第2の創生スタート スポーツとエレガントの両面を拡大



セイコーウォッチ(株)が、3月開催の国際時計宝飾見本市「パーゼルワールド2017」開幕初日の3月23日、世界各国のプレス向けに開いたプレスカンファレンスにおいて、これまでセイコーとしてのブランドであった「Grand Seiko」を、セイコーとは独立したブランドとして、セイコーと異なる別の高みを目指すとして発表した。 服部真二社長兼CEO(4月1日付で代表取締役会長兼CEOに就任)は、「Grand Seikoは、1960年、当時の技術、技能の



12時位置にGSとGrand Seiko(右側がNew)

コンセプトのままに、これまでビジネスシーンが中心だったデザイン領域を、ダイバズウォッチをはじめとする本格スポーツと、レディスが牽引するエレガントウォッチの両面で拡大を進める。さらに、プレステージ性の高い18Kゴールドコレクション、プラチナ製などの貴金属仕様を一層充実させ、ラグジュアリーシーンの需要にも応え、セイコーとは異なる独自の世界観を持つブランドとしてグローバル市場で存在感を高めていくとしている。 このことを象徴しているのが、Grand Seikoの新しいダイヤル。1960年の初代Grand Seiko誕生時、その名に託した思いを継ぎ、すべてのGrand Seikoに、セイコーではなく「Grand Seiko」のロゴを冠し、この第2の創生のスタートを切った。

米国に新たな政権が誕生して、世界中が大きく右傾化する流れの中で、対外投資を撤収して内需拡大を再度考慮すべき時期ではないかと、米財界の緊張が高まっている。今、野党勢力が強い。ついでに、森友学園問題にかまつている余韻などないはずだ。

中国やインドのような経済発展国にも大問題が起こる予感がする。つまり、新興国の経済成長が大きくなり、先進国との貿易はアンバランスとなり、世界経済の大幅停滞が世界恐慌のきっかけを生む可能性があるのだ。当然、田安・株安が進行。日本経済も一段と冷え、ジュエリーどころではない。先日ある宝飾店の社会的責任について触れていた。それは、特に地方で問題になりつつある。購買難民にいて、いかに対応すべきかについてだ。 以前書いたことがあるが、1970年代に1号店のできたコンビニエンスストアは、それまで各町にあった萬屋さんや三河屋さんからのスタートだ。それ以来40年の年月を経て、また昔の機能の必要性を模索している時代なのだ。老舗化社会にあって、自宅から半径500メートル圏に日常生活に必要なものを購入できる店が不可欠な時代になりつつある。 時宝店の場合、その多くは立地が最高で客には便利などころがあり、時計や宝石、貴金属を販売するだけでは足りない立地にある。時代の大きな流れの中で、店の存在の在り方を考えるべきだ。今世紀に入って、ユニバーサル化が強調され、国際化が優先されてきたが、これは必ずしも、すべての人々に幸せをもたらすものではなさそうだ。

日本のジュエリー産業 明日の姿を考える 第80回 第41回 新しい時代の宝飾業界

中国やインドのような経済発展国にも大問題が起こる予感がする。つまり、新興国の経済成長が大きくなり、先進国との貿易はアンバランスとなり、世界経済の大幅停滞が世界恐慌のきっかけを生む可能性があるのだ。当然、田安・株安が進行。日本経済も一段と冷え、ジュエリーどころではない。先日ある宝飾店の社会的責任について触れていた。それは、特に地方で問題になりつつある。購買難民にいて、いかに対応すべきかについてだ。 以前書いたことがあるが、1970年代に1号店のできたコンビニエンスストアは、それまで各町にあった萬屋さんや三河屋さんからのスタートだ。それ以来40年の年月を経て、また昔の機能の必要性を模索している時代なのだ。老舗化社会にあって、自宅から半径500メートル圏に日常生活に必要なものを購入できる店が不可欠な時代になりつつある。 時宝店の場合、その多くは立地が最高で客には便利などころがあり、時計や宝石、貴金属を販売するだけでは足りない立地にある。時代の大きな流れの中で、店の存在の在り方を考えるべきだ。今世紀に入って、ユニバーサル化が強調され、国際化が優先されてきたが、これは必ずしも、すべての人々に幸せをもたらすものではなさそうだ。

THE LAZARE DIAMOND The world's most beautiful diamond. WWW.LAZAREKAPLAN.CO.JP

村田宝飾 MURATA JEWELRY We love Jewelry

村田宝飾株式会社 松山本社 〒790-0964 愛媛県松山市中村2-8-15 TEL 089-941-4135 FAX 089-946-1971

お答えします。 桑山の輪王ならハート型のつまみも、可愛いだけじゃなく、掴みやすいです。

Wao 輪王 Brilliance Comes To Life

I.Jey Royal Baron ROYAL BARONNE ZEN ROYAL 株式会社 伊東商店

for you forever UCHIHARA 株式会社 国太

GEM TRUST ジェムトラスト推進室 0120-25-1837

SA\*BIRTH The Brilliance from Southern Africa

銀座4丁目・東京中野ブロードウェイのブランド時計 売買取専門店 NJ TIME nj-time.com